

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I (6)	身体拘束をしないケアの実践 調査員より「身体拘束を行う際の記録については記載漏れのないよう、複数の職員でチェックする体制とされるよう期待したい。」との提言があった。	身体拘束を行わないことは第一目標であるが、安全面でやむを得ず身体拘束を行った際の諸記録の中で、一部記載漏れがあった。 今後は定期的開催する職員会議や身体拘束適正化委員会において、諸記録が適正に行われているかの検討も行い、適正化を図りたい。	調査の翌日から身体拘束の記録様式を再検討し、日々の心身の状態等の観察記録と時間等の記載漏れをなくすように改善した。 (9/20実施済)	1か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。